

市立四日市病院 研修医 登 達哉

この一か月お世話になり、ありがとうございました。紀南病院での生活はとても早いものでした。本当に嵐のように過ぎていきました。

脳梗塞や尿路感染、肺炎から喘息、心不全までとても多くの症例とその管理を経験することができました。また病棟の管理のみならず、人生で初めての手技もたくさん経験することができました。これに関しましては、自由にやらせていただいた指導医の森本先生に感謝しかありません。ありがとうございました。

また、地域医療についても考えさせられました。最初は急性期が終わって、なんでここまで見続けるのだろうと正直思いましたが、日にちが経つにつれて、急性期から管理しているからこそ、その患者と家族にとって最適なゴールを早期から一緒に見つけることができるのだとわかってきました。そのメリットがわかってからは、入院時から意識的に家族と患者の希望と、最適なゴールへの持って行き方を考えて行動することができたかなと思います。

診療所や離島での研修も非常に楽しいものでした。2週目に行った浅里診療所では、患者さんたちと楽しくお話し、診療もきちんとしてきました。診療所の帰りには飛雪の滝とウミガメ公園にいきました。とても素敵な場所でしたが、なにより驚いたことは車で30分以上かかるほどの距離でも診察しに行く、紀南病院が担っている医療圏の広さでした。離島研修では、神島に行きました。神島に関しては、学生のときに研修に行きましたが、研修医になった今ではもっと違う見え方がするのだろうと思い、また研修させていただこうと思いました。

最初は花火がみれたらいいなとも思っていた紀南病院での研修ですが、医療のみならず、40年ほど続く医者人生でもとても重要なものになったと考えております。いろいろと思い出もありますが、書ききれないのでここまでにしたと思います。

いつか地域に還元できるシステムも考えたいと思います。1か月間ありがとうございました。

市立四日市病院 研修医 山下 大輝

まず初めに、この1か月間本当にお世話になりました。指導医の池田先生をはじめ他の先生方、コメディカルの方々、病院関係の方々、本当にありがとうございました。まず初めの3週間は、ひたすら内科の病棟管理に取り組みました。将来内科を志す自分にとって、様々な診療科にわたる疾患を沢山診させていただけたことは、本当に貴重な経験でした。残りの1週間はフィールドワークと診療所研修をしました。今までずっと大きな病院で研修していたためからか、いつの間にか自分が「人」を診るといより、「疾患」を診るといふようになってしまっていたことに気が付きました。今回の経験を通して、「人」を診るといふ、医療の原点であり根幹である部分に今回気づくことができよかったです。これからは、「人」を診るといふ大切な気持ちを忘れず、患者さんの生活背景などもしっかり踏まえて医療が提供できるような人間になりたいと思います。また、自分の研修前の目標でもあった「地域医療とは何か？について考える」についても、今回の研修を通してしっかり考えることができたと思います。

いつか地域に還元できるような医者になりたいと思います。1か月間ありがとうございました。

済生会松阪総合病院 研修医 澤井 翔馬

まずはこの1か月お世話になった筆頭指導医の佐藤先生を初め、お世話になった方々に感謝します。おかげさまで1か月楽しく過ごすことができました。まずは病棟業務に慣れることから始まりましたが、患者さんの多さ、バリエーションの多彩さに圧倒されあつという間に時間が過ぎていきました。慣れてきたと思ったらもう研修は終わっていて少し残念で寂しい気持ちです。市中病院ではもちろん地域の病院ではなおさらの分野でも80点以上の出来であることが必要とされ、かつその中で90点以上取れる得意分野を作る必要があると感じました。今研修医2年目ですが、来年いざここに赴任となったら同じようにできるかと思うと改めて研修期間の経験の重要性を実感しました。仕事以外ではこの1ヶ月は美味しいものをたくさん食べました。魚介類はさすがの一言。後半は天気にも恵まれ海にも行き、そして念願のスキューバダイビングの免許も取れました。病院だけでなく、青い空、白い雲、美しい緑、「地域」も満喫できたと思います。学生の時にも紀南病院や離島に行きましたが、自分の行動に責任を伴った研修医になってからこそ行くべきだと思いました。そんな1ヶ月でした。またお世話になる機会があればぜひよろしくをお願いします。

写真など

